SEOUL SEMICONDUCTOR CO.,LTD

# Press Information
報道関係者各位殿

**For immediate release**

## ソウル半導体、特許技術でフィラメント型 LED 市場攻略を狙う

韓国安山市—2017 年 2 月 9 日—世界的な LED（発光ダイオード）専業メーカーの Seoul Semiconductor Co., Ltd. (本社：韓国安山市、代表理事：李貞勲、以下「ソウル半導体」)は、LED 照明市場で高い成長を見せているフィラメント型電球用に LED パッケージ 4 製品を量産していると 2 月 7 日明らかにした。基本特許を武器にして、市場規模が 1,500 億円程度と言われるフィラメント型 LED 電球市場に本格参入する計画である。

ソウル半導体は 2000 年代初頭からフィラメント型 LED の開発を進めており、現在のフィラメント型 LED 製品の製造の中核技術であるチップの製造、COB パッケージング技術、モジュール化技術、電球の製造工程などを含む数百件の特許を確保している。世界の電球市場で流通する電球は年間 70 億個と推定されているが、このうち 25 億個は、各種の装飾用電球と思われる。この装飾用電球市場からフィラメント型 LED の利用が始まっており、既存の白熱電球と同じ形状の電球だけでなく、装飾照明の様々な形状のグローブ電球やキャンドルランプに応用可能だ。

ソウル半導体のフィラメント型 LED は、差別化された COB パッケージング技術により、自然光に近い高品質の光を実装することができ、全方向発光の技術で高品質かつ感性に訴えることのできる照明を実現することができる。カフェ、ホテルなどの商業施設空間だけでなく、ベッドルームやリビングルームなど家庭空間においても高品質な光によって、クラシックな雰囲気を作り出すことができる。

一方、ソウル半導体は、長い期間にわたる研究開発で獲得した特許技術を保護するために、フィラメント型 LED の模倣製品が世界的に流通していることに対して積極的な対応を図っている。一例として、ソウル半導体は、昨年、米国の 3 大流通企業と言われる Kmart を相手に、米国連邦裁判所に特許侵害訴訟を提起し、Kmart で販売されているフィラメント型 LED 電球製品が少なくとも 8 件のソウル半導体の特許を侵害していると主張した。また、昨年末には、フィラメント型 LED 電球を販売している米国、中国、欧州の大手照明メーカーや流通企業など 16 社を相手に特許侵害の警告を行った。

韓国でも一部の流通業者で、ソウル半導体の特許侵害製品が販売されていることが確認されており、同国内で流通するフィラメント型LEDの約90%が台湾や中国で生産されており、非常に残念に思うとソウル半導体の関係者は語っている。

ソウル半導体の中央研究所ナム・ギボム副社長は、「世界市場規模が約1,500億円と推定されるフィラメント型LED電球市場で、ソウル半導体はフィラメント型LEDの基礎技術で市場に本格参入し、強力な特許を基盤として、ブルーオーシャンのフィラメント型LED市場で、シェアを継続的に高めていきたい」とコメントしている。

なお、ソウル半導体のフィラメント型LED製品および応用例は、2017年3月7日から東京ビッグサイトで開催されるライティング・フェア2017でデモ展示される。ソウル半導体のブース番号はLF1017。

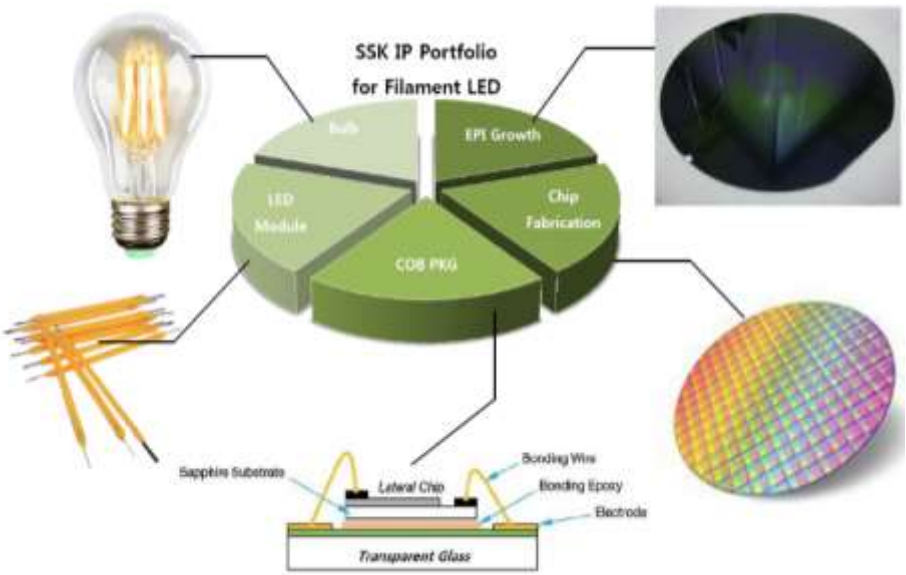
[参考資料]

<写真：ソウル半導体のフィラメント型LED製品>

SEOUL SEMICONDUCTOR CO.,LTD

<写真：ソウル半導体フィラメント型LEDを応用した様々なフィラメント型LED電球>

SEOUL SEMICONDUCTOR CO.,LTD




<図：ソウル半導体が保有しているフィラメントLED関連特許ポートフォリオ>

*フィラメント型LED電球とは？
フィラメント型LED電球は、白熱電球で光を出す光源の役割をしていたフィラメントの部分をLEDで構成した製品です。効率の低いフィラメントをLEDに置き換えることによって、白熱電球の欠点とされている低効率と短寿命の問題を完全に解決できる点が特長。特に、白熱電球特有の暖かみのある感性はそのまま維持して、360度全方向に光を照射することができるため、すでに北米を中心に高い需要が形成されており、全世界的に供給が拡大している。

報道関係者お問い合わせ先：
日本支社：ジャパンソウル半導体株式会社
広報担当
03-5360-7620